

令和5年度 一年言語文化 シラバス

対象教科・科目	単位数	学年・学級
言語文化	2	1年・全クラス
使用教科書		担当教諭名
大修館書店「新編言語文化」(言文706)		

1 学習計画

学期	単元名	教材の目標	考査
1	ことばと出会う 『漢字と仮名の使い分け』	<input type="checkbox"/> 言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 <input type="checkbox"/> 日常使っている言葉を見つめ直す。	中間
	詩歌の調べ 『夏のうた』	<input type="checkbox"/> それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 <input type="checkbox"/> 詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。	中間
	古文に親しむ 『古文への招待』 「いろは歌」	<input type="checkbox"/> 古文作品に親しむために、古典特有の表現について理解する。 <input type="checkbox"/> 言語文化としての「いろは歌」について理解を深める。	期末
	古文に親しむ 『児のそら寝』	<input type="checkbox"/> 本文を音読し、古文の響きやリズムを味わう。 <input type="checkbox"/> 文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。	期末
2	表現を味わう 『とんかつ』	<input type="checkbox"/> 登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 <input type="checkbox"/> 語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。	中間
	意見文を書こう	<input type="checkbox"/> 自分の考えを論理的な文章にまとめて、発表する。	
	漢文に親しむ 『訓読のきまり』	<input type="checkbox"/> 漢文の訓読のきまりについて理解する。 <input type="checkbox"/> 漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。	中間
	文化を見つめる 『足し算の文化』	<input type="checkbox"/> 日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。 <input type="checkbox"/> 身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。	期末
	現代に生きることば 『五十歩百歩』	<input type="checkbox"/> 「五十歩百歩」という言葉の意味について、考えを深める。 <input type="checkbox"/> この話で語られている教訓の意義を理解する。	期末
3	随筆を楽しむ 『枕草子』「にくきもの」	<input type="checkbox"/> 歴史的仮名遣いや古語に慣れ、本文を正しく読む。 <input type="checkbox"/> 作者が「にくし」と感じているものをとらえ、その理由を考える。 <input type="checkbox"/> 「にくきもの」について、自分の感覚との共通点・相違点を考え、作者の感性を理解する。	学年末
	物語を受け継ぐ 『羅生門』	<input type="checkbox"/> 小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 <input type="checkbox"/> 元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。	学年末

2 評価方法とその観点

評価方法		
●評価の観点別（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）に評価する。 各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断する。		
評価の観点および内容		評価方法
知識及び技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・授業プリントの取り組み ・定期考査及び単元テストの知識、理解に関する問題 ・行動観察
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・授業プリントの取り組み ・定期考査の思考・応用問題 ・行動観察
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・取り組み状況と内容 ・行動観察
<p>(1) 授業への取り組み 授業に対する姿勢（質疑応答、討論などを含む）、学習態度、国語への関心等で判断する。 評価の観点のうち、特に主体的に取り組む態度の項目を評価する。</p> <p>(2) 授業プリントの取り組み 自ら考えて記述しているか、論理的な思考ができているかなどを評価する。</p> <p>(3) 言語活動 話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの言語活動を行う。言語活動に対する姿勢、準備や考察、発表、作成物などから評価する。</p> <p>(4) 定期テスト・単元テスト 定期テストでは、評価の観点のうち、知識・技能、思考・判断・表現に関する部分が最も大きい。 また、単元毎に、単元テストも実施する場合もある。</p>		